

デイスコンゲーム解説

I 競技の特徴

いつでも、どこでも、だれでもが主役になれるユニバーサルスポーツです。ゲートボールと対比されます。ゲートボールは高齢者向けのスポーツでどちらかというところ

地味ですが、デイスコンは老若男女だれでもが楽しめるスポーツです。

場所は室内ですので雨でもできます。場所探しが一つの課題です。区民会館、老人会館、

小中学校の体育館などが候補です。

小学生から高齢者まで楽しむことができます。とくに高齢者が若いひとと交わって楽しむ

ことができます。高齢者のこうした社会参加は今後の高齢者社会の大きなテーマです。

高齢者の引きこもり対策としてデイスコンに誘うことが考えられます。

初心者でも経験者に遅れることなく十分渡り合えます。ディスクのコントロールは必ずしも

易しくはありませんが、投げ方、持ち方は自由です。

チームプレーですから仲間づくりに好適です。

関西でつくられたスポーツですが、NHK で放映され急速に関東でも普及しつつあります。



ボーリングスタイル



II 進め方の基本

両チームの競技者がコートに向き合って並び、最前列のもの同士がジャンケンをして、

勝ったチームが赤/先攻、負けたチームが青/後攻となります。

赤チームの一人がポイントを3mのポイントラインを超えるように投げ、続いてディスク1枚を

赤面を上にして投げます。次に青チームが投げます。

ディスクがひっくり返ってしまったときは、相手チームのディスクとなってしまいます。

同様に、ポイントに1番近いディスクよりも遠い色のチームが投げます。

この場合、相手のディスクよりポイントに1番近くならなければ、近くなるまで投げ続けます。

どちらかのチームがディスクを6枚投げ終わったら、もう一方のチームは、投げても投げなくてもかまいません。

この場合、のこりのディスクを投げることで追加得点出来る時も、

逆転して自滅するときもあります。

これでIイニングを終了し、採点に移ります。

得点は、ポイントに1番近い相手のディスクよりも、何枚近づいているかを数えます。

得点の数だけ得点表に○を入れ、○の中にイニング数を書き込みます。

(得点の記入法別途) 7点など早く所定の得点を獲得したチームが勝ちとなります。

負けたチームからポイントを投げ、次のイニングが始まります。

